
心の天気予報

はく

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心の天気予報

【Nコード】

N2746L

【作者名】

はく

【あらすじ】

ショートショートです。毎日がハッピーエンド。読む人の心を癒します。

晴れのち曇り、時々雨。

今日の天気は曇り空。

それは彼からメールがあつたから。

『今夜は仕事で帰れません』

今はオフィスでパソコンとにらめっこ。

笑うが負け？。

でも、笑えないな。

会いたい。

「タカギ君、明日の会議の資料はどうだね？」

「もう少しですね。今日は残業させて下さい」

「そうだな。頑張ってくれたまえ。よろしく頼んだぞ」

「はい」

明日は重要な会議がある。

仕事が思ったように進まない。

重要な仕事を任せてくれるのは素直に嬉しい。

でも、今は彼に会いたい。

「ふう」

ため息ついてしまった。

急いで資料を仕上げなければ。

定時を知らせるチャイムが鳴る。

「ふう」

まだ仕事は終わりそうにない。

集中しなくては。

メールの着信を知らせる音が鳴った。

差出人は・・・。

彼だ。

『予定より早く仕事が終わったので、9時には帰ります』

メールに返事をする。

『私はまだ帰れそうにありません。ご飯はレンジでチンして食べて

ね
『

1分と経たないうちにまたメールが届いた。

『お疲れ様。仕事頑張ってね。無理するんじゃないぞ』

少し心が落ち着いた？。

『ありがとう』

今は一言しか返事出来なかった。

仕事に集中しよう。

「タカギ君、どうだね？」

「部長、もう少しで終わりそうです。時間を下さい」

「うむ、私は構わない。頑張ってくれたまえ」

「はい」

頑張ろう。

「ふう」

今日、何回目のため息だろう。

やっと、資料が完成した。

印刷して、それを部長に渡す。

「さすがだな。タカギ君には頭が下がる思いだ」

どうやら、満足してもらえたようだ。

「部長こそ、お疲れ様です」

「いや、これが私の仕事だからな。タカギ君はもう帰りたまえ。こ
苦労様。これで明日は安心だ」

「はい。では、今日はこれであがらせていただきます」

「うむ、気をつけて帰ってくれたまえ」

「はい」

壁の時計を見る。

針は午後9時を指していた。

電車に乗れば、10時には帰れるだろう。

急ぎ荷物をまとめ、帰宅の途についた。

目の前にアパートが見える。

腕時計を見ると10時を少し過ぎている。

やっと彼に会える。

気分は晴れ。

「ただいま」

クラッカーが鳴り、その音で少し飛び上がってしまった。

「ナツキ、おめでとう」

彼だ。

これは・・・？。

「おい、自分の誕生日も忘れてしまったのかい？」

「あっ！」

「それと、これを受け取って欲しい」

彼の差し出した小箱を受け取り、開けてみる。

「ユウト、これは？」

「婚約指輪だよ。ダメかい？」

「ううん、嬉しい。ありがとう」

「ナツキ、俺と結婚して欲しい」

「・・・うん、ありがとう」

雨が降って来た。

今の私の心は嬉し涙の洪水だ。

でも、それは直ぐに晴れた。

彼が優しく抱きしめてくれたから。

今の天気は晴れ。

気持ちのいい日本晴れだ。

このままずっと・・・このままでいたいな。

彼と一緒に大丈夫。

ありがとうね、ユウト。

心の天気予報

（後書き）

ファンタジー小説『時空の羽』もよろしくね♪。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2746/>

心の天気予報

2010年10月15日06時09分発行